

Court of Governor によって新市長を選任し、Ravounel の各所と協力関係を結び、ニダルへの備えも整えた Silver Raven はいよいよシェリアックスの使節と Oakrib Inn にて会合を行おうとしていた。

Negotiation

シェリアックス側はネレザ以下書記官や護衛など計 5 名。Ravounel 側はレクサスを含む Silver Raven 7 名と Telepathic Bond でつながったジリアという構成で会合は行われた。

互いの挨拶が終わると、ネレザから Ravounel の独立の可否は今回の議題ではないとまず最初に宣言がされた。独立についてはシェリアックスも認めざるを得ないという事らしい。というわけでこの会合では独立した Ravounel とシェリアックスの間の経済や軍事等の新しい関係の構築が主な議題となった。具体的には次の 6 点。

1. 貿易協定
2. 国境管理
3. 文化財返還
4. 軍事同盟
5. 非交戦状態
6. バージライについて

■ Day1

初日は貿易協定について話し合われた。シェリアックスは Ravounel の塩、銀、花崗岩そしてサーモンの安定した流通と価格を求めてきた。

一方で Ravounel はシェリアックス以外にも販路を広げたい、価格は適宜変動するべきという立場をとった。

この交渉はシェリアックス側に軍配が上がった（交渉は Bluff, Diplomacy, Intimidate の三すくみによる補正と Push Point Rule で行われた）。

さらにその夜、シェリアックス側の見習い交渉官アスティニアがネレザには内密にと言って Silver Raven に接触してきた。エゴリアンの一勢力の代理だと言う彼女が求めてきたのは賄賂による議題 3, 4 の譲歩だった。何の魅力も感じられないその提案を拒否するとアスティニアはそそくさと帰って行ったが、どうやらこれはネレザによる交渉を有利に進めるための裏工作の様だった。交渉相手の強かさに驚きつつ Silver Raven は Teleport で Kintargo に帰るのだった。

■ Day2

翌日は国境管理と文化財の返還について話し合った。国境については Menador Keep を Silver Raven が破壊したことを向こうも知っていて、修復はこちら持ち管理はこれまで通りシェリアックスと主張してきた。しかし、この議題では Jacob が見事な弁舌で相手を丸め込み、結局修復費用もシェリアックスが一部支払い管理は基本 Ravounel 側で行うことで話が付いた。

文化財の返還は Silver Raven に取ってはそれほど重要な議題では無かった。もちろん交渉は行ったが、文化財のリストに危険な Magic Item 等が含まれていない事を確認するとシェリアックス側の求めに応じることにした。

この日も Teleport で Kintargo に帰ると不思議な報告が上がってきた。何でも街で怪奇現象が起きているらしい。Sirius が調べに行くとバージライやノックスの巨大な生首に追い掛け回される羽

目になった。これは Haunts で単純に殴って解決と言う訳には行かないためとりあえず人々を遠ざけ、対処は後日という事になった。

■ Day3

最終日は主に軍事が議題だった。シェリアックス側は緊密で強い軍事同盟を求めてきたが、好戦的なシェリアックスのせいで Ravounel の兵力が浪費されるのを避けた Silver Raven は力を入れてこの交渉に臨んだ。その甲斐あってシェリアックスの戦争に Ravounel が協力する場合には多くの制限を設ける事が出来た。

二つ目の非交戦状態についてもシェリアックスとは関係の良くないアンドーラン等と良好な関係を築きたいというジリアの意向を汲んで粘り強く交渉した結果、Ravounel がシェリアックスの戦争相手国と交易等を行う場合の制限は大変に緩いものとなった。

最期のバージライ・スルーンについては互いの意見に相違が無く、シェリアックスはバージライに関与しないという事で即座に話が纏まった。

交渉がすべて終わると迅速に書類が整えられ、時を置かずして代表者の調印も行われ、概ね Silver Raven の望んだ形の新しい二国間関係が始まったのだった。

Bones of Hell

■ Bone Tower

交渉の後回しにしていた Haunts の対応をするためにとりあえずリエルに占ってもらうと、書類をよく読めという謎のアドバイスを貰った。

隅々まで目を通したつもりだがまだ隠し要素があるのかと Kintargo Contract をもう一度読んでみるといつの間にか以前は無かった書き込みが為されていた。それはバージライの居場所についてで Hell の第八層、Caina の Bones of Hell という場所に立つ Bone Tower だと書かれていた。その塔の頂上に幽閉されているらしい。

Haunts を解決するためのアドバイスがこれということは、Kintargo に起きている怪奇現象はバージライの Genius Loci 化が進みつつあるという事なのだろうか。

何にせよバージライの魂を滅ぼせば全てが終わる。Silver Raven は準備を済ませると Hell へと向かった。

底の見えない穴にあるプラットフォーム上に立つ骨で出来た塔、それが Bone Tower だった。その入り口には Pit Fiend が待ち受けていた。

メフィストフェレスの使いであるらしいその Pit Fiend は Silver Raven に対して主人の喜びを伝え、守るべきルールを語って聞かせた。

そのルールとは Caina の他の場所に行かない事、塔内部に囚われている魂を解放しない事、塔内部のテストをクリアする事の3つ。

メフィストフェレスにとって Silver Raven とバージライの戦いは余興なのだろう。見世物になる気分は良くないが、今更引き返す筈も無く覚悟を決めた Silver Raven は巨大なあばら骨で出来た道、Rib Way を通って塔へと入って行った。

■ Vision

Bone Tower は内部の各部屋がヘルファイアで出来たテレポーターで繋がったダンジョンだった。

各部屋には 3 つ程度のヘルファイアが設置されていてその構造に Silver Raven はげんなりした。また、ヘルファイアテレポーターは通る度に Vision を見せてきた。この Vision もやがて Silver Raven を苦しめることに成った。

最初の Vision は泣いている女の子と猫の手足を切断する男の子という内容だった。テレポートした先は礼拝堂のような場所になっており、そこでは囚われた魂を拷問する Levaloch がいた。一応話をしてみたが Levaloch は死者しか先へ通さないというので殴り殺した。

次の Vision は書架の本の並びに腹を立てて使用人を折檻する少年だった。どうやらバージライの記憶を見せられている様だ。

進んだ先は Library で Apostate Devil の司書が壊れたゲートを直そうとしていた。今度は話が出来たので素通りした。

その後も Devil を殴り、Ghaele を救い、腐った植物の汁が溜まった部屋を抜け、Song of Silve を奏でる豎琴に対し Countersong を歌うことを強いられていた Vision の女の子に何処となく似たネレイドを助け、Silver Raven は進んだ。

この間も Vision は続いていた。しかし、Inquisitor に成り Milani 信者をいじめたり、高級そうな酒場で酒とクスリを楽しんだりと順調(?) そうだったものが突然、友人たちに囲まれていじめられ、妹の入浴を覗こうとして母親に叱責され、親類が結婚して行く中で一人残され荒れるといったおかしなものへと変わっていった。こんなものを見せられて一体どうすればいいのか Silver Raven はただただ困惑していた。

そしてついに底の見えないピットに架かる橋の先にひと際大きいヘルファイアテレポーターを発見した。その前にはドレッドレイスとなつてまで Silver Raven に立ち塞がるノックスの姿があった。今度こそ完全にノックスを滅ぼし、Silver Raven は最後のテレポーターに突入した。

■ Barzillai Thrune

Bone Tower の頂上に鎖で繋がれたバージライの姿は Bone Devil の様だった。企みを散々邪魔されてきたバージライは大変お怒りだったが、反対に Silver Raven は見せつけられた Vision のせいで冷めきっていた。

最終戦闘は時間で言えば短いものだった(3round)。Silver Raven 側が広めの空間にバラバラになってテレポートアウトして始まった上に相手はお供の Horned Devil*2 や続々と湧いてくる Hound of Old Kintargo と数が多かったため、バージライに狙いを絞った短期決戦を仕掛けるしか無かったのだ。

戦闘開始直後に Cordia のダガーがバージライを半殺しにしたが、バージライもお返しとばかりに Mythic Summon Monster から Pit Fiend を呼び出し Cordia をスタンさせる。

犬に絡まれながらも Jacob が決死の特攻で豎琴を奏で、Cordia を治すが行動順の関係で Cordia は再度スタンさせられてしまう。しかもバージライは二回行動で自分に Heal。

他の面子もそれぞれ敵と対峙していて決定打を打つ事が出来ない。

良くない流れが変わったのは予期せぬ援軍の登場からだった。先ほど助けたネレイドが現れ、妹似の顔でバージライを煽るとただでさえ怒っていたバージライは血管が切れるほど顔を上気させた(4d6 Dmg & ST -4)。ここが最後の好機と見た Jacob は Boots of Dancing を起動、バージライを

死の舞踏へと誘った。これが決まり AC が低下したところを Sirius、解放仮面、Kakortok が総攻撃するとバージライは倒れた。

Ending

倒れたバージライに Soul Anchor から取った心臓を嵌めるとその体から大きなヘルファイアが立ち昇った。その中から現れたのは何とメフィストフェレスだった。

メフィストフェレスは灰になったバージライを掬い上げるともう一方の手に持っていた契約書へと押し付ける様にした。そしてその契約書を懐にしまうと Silver Raven の方を向き、これでバージライとの間に結ばれた契約は終わったと言った。さらに、今回の一件でスルーン家の威光にも傷がついてそれは主人であるアスモデウスのまさに望んだ通りの結果だとも。続けて Silver Raven に対する賛辞の言葉を述べたメフィストフェレスはしかし、急に興味を失ったのかもう用は無いのでとっとと帰れと言い放った。

次の瞬間、気が付くと Silver Raven は Material Plane に帰還していた。KIntargo に戻り、全てが終わったとジリア市長に伝えると彼女は感謝し、この記念にお祭りを開催することになった。

長らく困難が続き多くの血が流された Kintargo だったが、漸く訪れた平和に人々は祭りを楽しんだ。そしてそんな街や人を祝福するように通りのあちこちではバラが咲き乱れるのだった。